



公益社団法人 全日本病院協会

# 総合医育成事業

## 全日本病院協会 総合医育成事業とは

全日本病院協会 総合医育成事業は、(公社)全日本病院協会が(一社)日本プライマリ・ケア連合学会及び筑波大学との協力のもと提供する総合医の育成プログラムです。

本プログラムは、内科や外科など、すでに自分の専門領域に関する経験をもつ医師が、プライマリ・ケアにキャリアを広げることを支援することを目的としています。「診療実践」「ノンテクニカルスキル」の2分野34単位から構成されるオンラインを中心としたスクーリングを実施し、現在の勤務を続けながら、「プライマリ・ケアの現場で一步踏み出せる」スキルを直接学ぶことができるのが最も大きな特徴です。

本プログラム修了者を「全日本病院協会認定総合医」として認定いたします。また、日本プライマリ・ケア連合学会「プライマリ・ケア認定医」を受験する場合の筆記試験が免除されます。すでに認定医を取得されている方は、更新単位としても活用できます。今後、地域医療構想、地域包括ケアシステムの導入が進み、プライマリ・ケアで活躍する医師のニーズが高まっていくことは確実です。確かな能力をもってプライマリ・ケアを実践できるようになるために、ぜひ本プログラムをご活用ください。

## プログラムの目的

- ① 一定のキャリアを持つ医師が、個々の専門性や経験を生かしつつ、さらに診療の幅を広げる。
- ② 総合診療専門医のもつコンピテンシーを理解・共有し、職場において専門医との協働による相乗効果への期待。
- ③ 病院内外の医師や関連施設および関係する多職種との連携をスムーズに行う医師の育成。
- ④ 地域包括ケアにおける複雑な課題への対応能力を高め、住民からの信頼を得る医師の育成。
- ⑤ 総合的・俯瞰的に病院機能の改善をはかることができ、かつ病院組織の運営に積極的に関与できる人材としての医師の育成。

※お申込みは全日病総合医育成プログラムHP(<https://www.ajha.or.jp/hms/sougoui/index.html>)よりご案内をご確認ください。

お問い合わせ先

公益社団法人 全日本病院協会 総合医育成プログラム担当

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル11階

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 Mail [sougoui@ajha.or.jp](mailto:sougoui@ajha.or.jp)

ホームページ <https://www.ajha.or.jp/hms/sougoui/index.html>





## 対象と受講要件

### ■ 対象者

- おおむね医師経験6年目以上で、プライマリ・ケアでの実践的なスキルの習得を希望する全ての診療科の医師。
- オンライン研修に参加するためのインターネット環境およびパソコンを準備できること。

※研修にはzoomを使用します。

※オンライン研修を受けたことがない、zoomを使った経験がない、という方でも事務局が初歩から技術支援を行いますので、ふるってお申し込みください。

### ■ 研修期間

- 1年～4年間（2年間を標準研修期間として設定しています）
- 4月～翌年3月までを1つのタームとして進める。年度途中からの受講も可能。

### ■ 受講料

- 会員 20万円（税別） 会員外 23万円（税別）

### ■ 定員

- 50名

### ■ 申込方法

総合医育成プログラム申込ページより、  
WEBまたはFAXでお申込み下さい!



🔍 全日病 総合医 🔍 検索

「全日病 総合医」で検索  
またはQRコードからアクセス!



※詳細は別途お送りしております。

「全日本病院協会 総合医育成プログラム 受講者募集に関するご案内」も合わせてご参照ください。

## 構成

### ■ ①自院における診療実践

- 自施設で診療・実践を行うことを原則とする。
- 診療以外の実践・活動:教育履歴、地域保健福祉活動、研究履歴なども評価対象とする。

### ■ ②スクーリング

- 「プライマリ・ケアの現場で一步踏み出せること」を目標とした能動学習で現場での実践力を身につけることを目的とする。
- 研修はすべてオンライン形式で実施され、非同期型学習(e-learningや事前課題を通じた自習)と同期型学習(オンラインでのライブ研修)を組み合わせた形式とする。ライブ研修の時間はコースによって異なるが、おおむね3～4時間とする。
- 上記の組み合わせを1単位として、研修は「**診療実践コース**」23単位、「**ノンテクニカルスキルコース**」11単位の全2コース34単位から構成される(変更となる場合がございます)。
- 研修者は、それぞれのコースにおいて所定の単位数を受講することを認定の条件とする。



診療実践コース

ノンテクニカルスキルコース

オンラインで  
リアルタイム配信



ご自宅から、職場から  
ご受講いただけます



## 「全日本病院協会 認定総合医」の認定要件について

### ① スクーリングを所定の回数以上の履修。

診療実践コース **12単位以上**  
 ※「医療運営」必修  
 ノンテクニカルスキルコース **6単位以上**  
 合計 **18単位以上**

※AHA ACLSプロバイダーコース(日本内科学会内科救急・ICLS講習会(JMECC)もこれに準じる)および厚労省の定めるプログラムに基づく緩和ケア研修会の参加はそれぞれ「診療実践コース」1単位参加とみなす。  
 ...有効期限内のみ。認定申請時に研修参加を証明する書類のコピーを添付の上ご送付ください。

### ② 総合的な診療を実践していること。(認定申請時に提出)

認定に際しましては上記の要件を満たしたうえで認定申請を行っていただきます。  
 詳細は研修ホームページ  
 (<https://www.ajha.or.jp/hms/sougoui/index.html>)をご確認ください。



## スクーリングについて

### 診療実践コース (全23単位) ※2年間で全単位実施

- ▶プライマリ・ケア・セッティングにおいて日常よく遭遇する疾患・病態に対して、適切な初期対応とマネジメントができる能力を修得する。  
 ※高度な専門知識や高度な技術の修得が目標ではない
- ▶診療場面を意識した到達目標を明示し、自らのバックグラウンドや診療能力と照らし合わせて**必要なコースを選択して**ご受講下さい。

### 総論

- ①臨床推論
- ②EBM
- ③④⑤T&A (triage&action)コース (救急初療(病院版)、小児、マイナーエマーゼンシー)
- ⑥行動変容
- ⑦リハビリテーション
- ⑧医療運営

### 各論

- |         |               |
|---------|---------------|
| ①循環器    | ⑨小児科          |
| ②呼吸器    | ⑩整形外科         |
| ③消化器    | ⑪産婦人科         |
| ④代謝内分泌  | ⑫皮膚科          |
| ⑤腎・泌尿器  | ⑬精神科          |
| ⑥神経     | ⑭認知症          |
| ⑦血液・膠原病 | ⑮地域包括<br>ケア実践 |
| ⑧感染症    |               |

### ノンテクニカル スキルコース (全11単位) ※1年間で全11単位実施

- ▶地域で活躍する総合医には、医学的知識・技術(テクニカルスキル)だけでなく、組織人としての技術(ノンテクニカルスキル)が求められる。
- ▶本プログラムでは、地域包括ケアシステムのリーダーを養成するという考え方に基づき「リーダーシップ」「チームビルディング」「人材育成」などのスキルを修得する。

### 実施内容

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| ①MBTI(性格タイプ別<br>コミュニケーション) | ⑥ミーティングファシリ<br>テーション    |
| ②コンフリクトマネジメント              | ⑦問題解決(1)                |
| ③コーチング+人材育成                | ⑧問題解決(2)                |
| ④教育技法                      | ⑨TEAMS-BI(仕事の教え方)       |
| ⑤リーダーシップ<br>・チームビルディング     | ⑩TEAMS-BP<br>(業務の改善の仕方) |
|                            | ⑪TEAMS-BR(人への接し方)       |

※変更となる場合がございます

- 単回受講(スポット受講)について「いきなり全てのプログラムを受講するのが不安だ」「興味のある講座のみ受講したい」という場合に、本プログラムでは単回受講(スポット受講)も受付けております。  
 ※スポット受講分の単位については、受講から1年以内に本コースの受講に切り替えられた場合のみ、修了単位として充当されます。
- ※また受講から1年以内に本コースの受講に切り替えられた場合、それまでのスポット参加分の受講料5単位分を上限に差し引いてのご案内となります。





## 総合医育成プログラム「修了者の声」



## 西原 仁

医療法人  
横浜未来ヘルスケアシステム  
戸塚共立第1病院  
総合診療内科部長

今回おかげさまでもちまして、全日病の総合医育成プログラムを終了いたしました。

私は現在、横浜市にある中規模の総合病院にて一般内科医として勤務しつつ、時には救急を、時には訪問診療を、時には地域のワクチン接種を、時には発熱外来を担当させていただきつつ、普段の外来では「何科にかかれば良いかわからない」症候をお持ちの患者さんを診察し、当科でフォローしたり、専門医を紹介したりなど、いろいろな仕事をさせていただいております。

今回、受講のきっかけは上司から「こういう研修があるのだが、どうですか？ぜひ先生には受講してもらいたい」とのお奨めをいただいたことです。

実際に受講してみると、他業種のスタッフとのコミュニケーションをより円滑にしたり、研修医へより効果的な指導ができるようにあるノンテクニカルな様々なツールや、それぞれの専門科による、プライマリー・ケアを担当する医師として必要な最小限の知識やスキル、どの段階で専門家へのコンサルトを要するかなどのタイミングについて効果的に研修できたように思います。

また、コロナ禍後よりさまざまに浸透し、洗練されて来た「オンライン研修」というツールを用いて、様々なバックグラウンドをお持ちの先生方とともにグループワークを経験できたのも非常に新鮮かつ、刺激的な経験となりました。

現時点で修了に必要な単位数には達しましたが、まだ未習得な科目についても積極的に受講したいと考えております。

また、本研修は、今まで誰も系統的に教えてくれなかった医師としての当たり前のスキルや考え方を効果的に習得できる貴重な研修であるとも考えており、研修医をはじめとする他の医師にもお勧めしていきたいと存じます。

大変有意義かつ、貴重な研修をご提供賜り誠にありがとうございました。



## 廣田 康宏

医療法人  
外海弘仁会  
雪浦ひうらクリニック  
院長、法人理事

今回参加することになった研修会は、発足当時から知ってはいたが研修会場に出むく必要があったために参加をためらっていた。しかし、コロナ渦ということもありweb参加形式となったおかげで躊躇なく申し込みができた。研修会には大変満足している。退屈だった会は一つとしてなかった。コーディネートされた前野教授をはじめとするスタッフの皆様、各研修会の講師の先生方には深い謝意をお伝えしたい。

私は、整形外科の専門医で整形外科とリハビリ科を専門領域としていたが、公立みつぎ総合病院（広島県尾道市）で地域包括ケアシステムを学んだことをきっかけに地元で全人的医療を提供したいという考えに至り、平成20年12月より活動を始め現在に至っている。

私の仕事におけるテーマはH流百式地域包括ケアシステムの構築である。H流というのはHirotaの頭文字であり、百式とは百年（言いすぎだが長く続くということ）利用できるという意味である。

例えば、新興感染症の例として新型コロナ感染症における地域包括ケアシステムを構築し、一つの結果として2つの特養及び2つのグループホームでのクラスターを経験し、たまたまであろうが死亡者ゼロが継続中である。感染症、消化器病、認知症等といった医療実践で御教授いただいた知識に留まらず、ノンテク各論で学んだスキルを活かして施設職員の教育、多職種連携、チームビルディングに日々苦闘した成果と思っている。



## 松本 敏幸

松本内科循環器科医院

院長

今回令和4年からこの総合医育成プログラムに参加させていただきました。病院勤務時代と違い一人診療所で平素業務をしています、いわゆる「耳学問」の機会が極端に減ってしまいます。

自分の専門領域の学会参加や雑誌の購入は可能ですが、他領域の学会や講演会参加は気後れしてしまい、仮に参加してもあまりに基本的な疑問などは尋ねることなどはばかかれ、実践では折角の講演内容も生かされぬままの事が多々あります。

しかしこのプログラムでは各々のテーマにおいては非専門家の先生方がお集まりになり、専門家であられる講師の先生方の助言を聞きながらグループワークで素朴な疑問を出し合い文殊の知恵？を作り上げる事で日頃不足している「耳学問」を学習できる機会を得ることができました。

また講演会では聞くことのできない「専門医の本音」を垣間見ることができたのも貴重な体験でした。かかりつけ医の立場では日常診療での多くの時間が所謂非専門領域ですので、ここで得た知識を生かし目の前の患者さんをいかに適切なタイミングで専門医へ繋げていくかを学べる機会になったと思っています。



## 八重樫 穂高

永生病院

精神科医長

総合医育成プログラムに参加させていただき、各専門分野の診療実践コースはもちろん大変勉強になったのですが、コーチング、チームビルディング、ミーティング・ファシリテーションといった普段馴染みのないノンテクニカルコースの内容に触れることができ、それが非常に有意義だったと感じております。

私が専門としている精神科領域では特に他職種連携が重要であり、病院内に限らず、さまざまな地域の関係者や家族なども巻き込んだものになることが多くなります。そのような場面で、今回学んだコミュニケーションスキルを活かし、よりよい医療を提供できればと考えています。

また、院内や病棟内でのスタッフ教育やモチベーション向上といった視点でも、これらのスキルを用いて活動していこうと具体的に計画を立てているところです。本プログラムに関係されている講師の先生方や事務局の方々には大変お世話になりました。

本当にありがとうございました。



## 総合医育成プログラム 2025年スケジュール(予定) ※変更となる場合もございます

日程	場所	コース	テーマ	代表講師名(ご所属) ※敬称略
2025年4月12日(土) 13:00~	オンライン		開講式	
2025年4月13日(日) 13:00~	オンライン	診療実践	医療運営	佐野 哲 (法政大学経営学部経営学科)
2025年4月27日(日) 13:00~	オンライン	診療実践	小児科	高村 昭輝(富山大学附属病院 総合診療科) 山本 正仁(長浜赤十字病院 小児科)
2025年5月11日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	TEAMS-BI(仕事の教え方)	山口 和人 (日本産業訓練協会)
2025年6月1日(日) 13:00~	オンライン	診療実践	EBM	南郷 栄秀 (聖母病院総合診療科)
2025年6月8日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	認知症	藤谷 直明 (よつばファミリークリニック)
2025年6月28日(土) 14:00~	オンライン	ノンテック	ミーティング・ファシリテーション	大曾根 衛 (株式会社テルメイク)
2025年7月6日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	呼吸器	長尾 大志 (島根大学医学部 地域医療教育学講座)
2025年7月27日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	MBTI (性格タイプ別 コミュニケーション)	園田 由紀 (PDS総合研究所)
2025年8月3日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	皮膚科	田口 詩路麻 (水戸協同病院 皮膚科)
2025年8月24日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	問題解決①(ロジカル思考)	大曾根 衛 (株式会社テルメイク)
2025年9月21日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	T&A (triage&action) 救急初療	齊藤 裕之(山口大学医学部附属病院 総合診療部) 山畑 佳篤(京都府立医科大学 救急・災害医療システム学)
2025年9月23日(火・祝) 9:30~	オンライン	ノンテック	現場での効果的な教育方法	前野 哲博 (筑波大学附属病院 総合診療科)
2025年10月5日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	精神科	今村 弥生 (杏林大学医学部 精神神経科)
2025年10月19日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	コンフリクト・マネジメント	福田 幸寛 (life story合同会社 筑波大学総合診療科)
2025年11月1日(土) 14:00~	オンライン	診療実践	T&A (triage&action) 救急初療	齊藤 裕之(山口大学医学部附属病院 総合診療部) 山畑 佳篤(京都府立医科大学 救急・災害医療システム学)
2025年11月9日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	臨床推論	原田 侑典 (獨協医科大学 総合診療医学)
2025年11月16日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	チーム・ビルディング	大曾根 衛 (株式会社テルメイク)
2025年12月7日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	コーチング	福田 幸寛 (life story合同会社 筑波大学総合診療科)
2025年12月14日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	循環器	渡辺 重行 (東北医療センター 高萩協同病院)
2026年1月11日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	TEAMS-BP(業務の改善の仕方)	山口 和人 (日本産業訓練協会)
2026年1月18日(日) 9:30~	オンライン	ノンテック	TEAMS-BR(人への接し方)	山口 和人 (日本産業訓練協会)
2026年1月25日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	消化器	三原 弘 (札幌医科大学医療人育成センター教育開発研究部門)
2026年2月1日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	耳鼻科	高橋 優二 (井上病院 総合内科)
2026年2月7日(土) 14:00~	オンライン	ノンテック	問題解決②(システム思考)	大曾根 衛 (株式会社テルメイク)
2026年3月1日(日) 9:30~	オンライン	診療実践	T&A (triage&action) マイナーエマージェンシー	松原 知康 (広島大学病院 脳神経内科)



## 全日本病院協会 総合医育成プログラム 参加のお勧め (全日本病院協会認定総合医)

公益社団法人 全日本病院協会  
会長 猪口雄二



日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

さて、全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。一方で、社会構造の変化と医療の持続可能性への不透明感等、病院を取り巻く環境は激変しており、地域に密着した診療活動の中での実体験として、こうした環境の変化への強い危機感を抱いております。

2018年に「総合診療専門医」が新専門医制度の下、新たな専門領域としてスタートしました。多領域の診療を広く受け持つ総合診療専門医の育成は、高齢患者が増加し、地域包括ケア時代を迎え、多くの複雑な課題と直面している医療機関にとって必要不可欠なものと考えます。しかし、同専門医があらゆる地域の医療機関に根差して活躍するまでには、まだまだ時間を要するところです。

こうした状況下において、すでに多くの医療機関で、医師がその専門領域以外の場面で活躍する機会が増加していることと存じます。そこで、当協会ではそうした医師の更なるキャリアアップの一助とすると同時に、総合診療専門医のもつコンピテンシーを理解・共有し、職場において専門医と協働できる環境の醸成と、地域包括ケアの中核を担える医師の育成を主な目的とし、本プログラムを作成いたしました。

本プログラムは、日本の医療制度や医療をめぐる現状、診療の場面で一步踏み出す能力を身につけることを目標とした「診療実践コース」と、リーダーシップやチームビルディング、人材育成について学ぶ「ノンテクニカルスキルコース」の2分野から成るスクーリングを主とし、ご自身の医療機関で実践いただくまでを全体の構成としています。

本研修スクーリングでは、2021年よりオンラインによる研修を中心とし、参加者同士グループワークにより実践的な知識を深めていただきます。また、特に自身にとって必要な分野についての学習を深めていただくため単位制をとり、所定の単位取得後に申請いただいた後、全日本病院協会総合医審査委員会が認定した医師を「全日本病院協会認定総合医」といたします。

各病院におかれましては、すでに総合医の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

